

## 2) 情報の収集結果

学術的な知見に関する情報の収集結果を表7-1に示す。学術的な知見に関する情報は全体で228報の文献が収集できた。毒性の種類に関する知見、排出現に関する知見が多く、水・大気・土壌分配比、毒性発現期間に関する知見は得られなかった。

新聞や雑誌などのメディアを通じて、紹介された最新情報は、全体で405報の情報が収集できた。排出源および毒性の対象に関する情報が多く、分配比、生物蓄積性、毒性発現期間に関する情報は少ない。

表7-2に学術的な知見に関する情報、表7-3にマスメディアによる情報の文献リストを示す。

表7-1 情報の収集結果

キーワード	学術的な知見に関する件数	マスメディア情報の件数
[物質の特性]		
① 分解性	22	35
② 水・大気・土壌(底質)分配比	15	1
③ 拡散性	23	7
④ 生物蓄積性	5	5
	65	48
[物質の毒性]		
① 毒性の種類	33	22
② 毒性の対象	20	94
③ 毒性発現期間	8	0
④ リスクの及ぶ範囲	12	64
	73	180
[物質の拡散]		
① 排出源	38	107
② 生産量, 使用量	2	9
③ 環境への放出量	25	26
④ 環境への存在量	25	35
	90	177
合計	228	405

表 7-2 (1) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の特性] ① 分解性

1	青笹治, 中尾晃幸, 太田壮一, 宮田秀明, 排泄促進物質摂取によるダイオキシン類の免疫抑制作用における軽減効果, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 140-140 (1998)
2	伊藤三郎, 田中敏博, 池口学, 佐久間博司, AOP法によるダイオキシン分解の研究, 第8回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 787-789 (1997)
3	吉原福全, 西脇一守, 大橋洋介, 平岡正勝, ダイオキシンの生成・分解に関する熱力学平衡解析, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 684-686 (1998)
4	平岡龍三, 深田能伸, 平田雄彦, 常深武士, 古角雅行, コークスベッド法による種々の廃棄物の熔融処理におけるダイオキシン分解挙動, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 717-709 (1998)
5	神田伸靖, 田中烈, 稲葉利晴, 杉浦公昭, 板谷真積, 飛灰中のダイオキシン類の分解挙動に関する研究, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 742-744 (1998)
6	福山邦夫, 香西幸男, 坂野正弥, 金岡秀幸, 石窪恒星, 飛灰中ダイオキシンの熱分解処理, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 745-747 (1998)
7	宇治貞宏, 藤田正仁, 上島賢郎, 船引隆宣, 触媒によるダイオキシン類の分解性について, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 751-753 (1998)
8	上田一恵, 鈴木俊男, 杉原陽一郎, 田井和夫, 田中一正, 地下正伸, 触媒によるダイオキシン類分解除去法における排ガス処理条件の検討, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 754-756 (1998)
9	竹内政雄, 今川隆, 椎名拓海, 土屋健太郎, 原田和彦, 藤見篤弘, 平島照久, 電子線照射によるダイオキシン類の分解, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 757-759 (1998)
10	西谷隆司, 福永勲, 伊藤尚夫, 澤地實, 浦中圀夫, 村川忠夫, 長井健一, 前田信広, 野邑奉弘, 加熱水蒸気による飛灰中の有機塩素化合物の分解実験, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 760-762 (1998)
11	戸田久之, 内田隆治, 宮村彰, 新村浩司, 谷口紳, 細見正明, 村上昭彦, Cristoffer Rappe, BCDプロセスによるダイオキシン汚染土壌浄化とダイオキシン分解, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 980-982 (1998)
12	井上三郎 他, ごみ焼却炉における微量有機塩素化合物に関する研究 セラミックフィルタによるダイオキシン類の生成抑制, 大阪市立環境科学研究所報告 No. 51, 31 (1995)
13	ラット肝臓の細胞質内微粒体を使って 3-methylchloroanthrene によって誘発された PCDD/PCB 同性質物の in vitro 代謝, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 34 (DIOXIN '97:Toxicology), 182 (1997)
14	ウシでの 1, 2, 7, 8-TCDD の分泌, 組織内分布および代謝, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 34 (DIOXIN '97:Toxicology), 191 (1997)
15	1, 2, 7, 8-TCDD か 1, 4, 7, 8-TCDD と接触したラットから分離された 79kDa タンパク質とダイオキシン代謝物の共有結合, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 34 (DIOXIN '97:Toxicology), 195 (1997)
16	W. Wayne Brubaker. Jr., Ronald A. Hites, ガス状ヒドロキシルラジカル反応と大気中 PCDD/F の除去, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 889-892 (1998)
17	Hans-Peter Grabel, Hanspaul Hagenmaier, PCDD/Fs の熱水による分解, 平成10年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Formation and Sources), 145-150 (1999)
18	Akira Miyamura, Hiroshi Shimmura, Shin Taniguchi, Ryuji Uehida, Makoto Takada,

	Hisayuki Toda, Masaaki Hosomi, Akihiko Murakami, Cristoffer Rappe, 塩基触媒分解(BCD)プロセスによる PCDD/Fs 分解とダイオキシン汚染された土壌のリメディエーション, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Formation and Sources), 122-127 (1999)
19	POP 毒性力学における代謝の役割, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 37 (DIOXIN '98:Metabol), 341 (1998)
20	好氣的または嫌氣的状況下のダイオキシン分解: 最先端技術と生物技術, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 429 (1998)
21	腐植質による PCDD/F の還元的状況下での還元的脱塩化, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 433 (1998)
22	PCDD/Fs の光化学分解に天然有機化合物が果たす役割, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 377 (1998)

表 7-2 (2) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の特性] ② 水・大気・土壌(底質)分配比

1	ニュージーランドの河川における PCDD/F と有機塩素殺虫剤のベースライン濃度, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 32 (DIOXIN '97:Levels in the Environment), 11 (1997)
2	G. S. Chen, K.-W. Schramm, B. Henkelmann, Ying Xu, Y. Y. Zhang, A. Kettrup, 中国 Ya-Er 湖内の PCDD/F の移動と底質プロフィール, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Levels in the Environment), 526-530 (1998)
3	Roger Pearson, D. Swackhamar, S. Eisenreich, D. Long, 大気からの PCDD/F が五大湖に与える影響: PCDD/F の底質蓄積における構成成分の比較, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 743-747 (1998)
4	Christoffer Rappe, Rolf Andersson, Christoph Studer, Georg Karlaganis, スイスの下水道汚泥でみられる PCDD/F 濃度の減少, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 748-753 (1998)
5	イギリスの PCDD/F における大気濃度と堆積フラックスの再構築, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 88 (1997)
6	Stephen Ayris, Stuart Harrad, 土壌の PCB の揮発化に影響する要因, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 909-915 (1998)
7	湖サイクルにおける大気-水の間での PCB 置換の役割, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 255 (1997)
8	PCB の大気から牧草地への移動, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 259 (1997)
9	AEOLUS 最中の PCB と PAH のガス粒子パーティショニング: 吸着メカニズムと平衡, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 264 (1997)
10	Donald Cortes, Flora Basu, Ronald Hites, 五大湖周辺の大気中 PCB 濃度に時間経過がもたらす影響, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 788-793 (1998)
11	イギリス地方の大気における短期的な PCB 濃度変化, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 275 (1997)
12	スペリオル湖における Toxphene の大気から水への移行, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 285 (1997)
13	S. Masunaga, T. Sakurai, I. Ogura, J. Nakanishi, 東京湾と霞ヶ浦湖におけるダ

	イオキシンの質量バランス，平成10年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Environmental Levels), 491-495 (1999)
14	L. Ramacci, G. Ferrari, V. Bonamin, 産業排水及び家庭排水からの PCDD/Fs 源とベニス湖底質での分布，平成10年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Environmental Levels), 521-525 (1999)
15	過去から汚染されてきた底質の PCDD 脱塩化の促進，ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 437 (1998)

表7-2 (3) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の特性] ③ 拡散性

1	中野武, 松村千里, 藤森一男, 環境中のポリ塩化ナフタレンの挙動, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 152-153 (1998)
2	張野宏也, 福島実, 山本義和, 金崎聡子, ムラサキガイを指標とした有機スズ化合物汚染の特徴, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 258-259 (1998)
3	安田憲二, 中村富男, 斉藤邦彦, 代田寧, 志田恵, 伊部治重, 本多裕姫, 産業廃棄物の燃焼にともなう二次汚染物質の挙動(その1)―実験用焼却炉による基礎実験―, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 693-695 (1998)
4	安田憲二, 中村富男, 斉藤邦彦, 代田寧, 志田恵, 伊部治重, 本多裕姫, 産業廃棄物の燃焼にともなう二次汚染物質の挙動(その2)―クロロベンゼン類, クロロフェノール類について―, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 696-698 (1998)
5	大迫政浩, 金容珍, 田中勝, 焼却残渣主体埋立処分層内のダイオキシン類の挙動に関する一考察, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 909-912 (1998)
6	桜井健郎, 水環境におけるダイオキシン類の動態, 水環境学会誌 Vol. 21 No. 7, 8-12 (1998)
7	一部のごみから浸出する PCDD/F と PCB の実態調査, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Sources), 185 (1997)
8	バルト海北部における粒子物質での有機塩素汚染物質の発生率, フラックス見積, 空間的変動, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Ecotoxic), 307 (1997)
9	分解されないハロゲン化キラル汚染物質の測定及び環境中での移行, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 31 (DIOXIN '97:Levels in the Environment), 225 (1997)
10	オーストリアの森林の PCDD/F 汚染の質量バランスと排気量データとの比較, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 32 (DIOXIN '97:Levels in the Environment), 118 (1997)
11	Transfers of Airborne PCDD/Fs to Bulk Deposition Collectors and Herbage Kevin Jones, Raquel Duarte-Davidson, 大気中の PCDD/F から植物などへの移動, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 807-811 (1998)
12	A. Buekens, L. Stiegiitz, S Marklund, W Esser-Schmittman, R Louw, H-H. Grotheer, H. Fiedler, 欧州連合調査プロジェクトの概要: 「加熱工業プロセスからの PCDD/F の低下: メカニズム, モニタリング, 回避 (MINIDIP)」, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 812-816 (1998)
13	Mark Cohen, Barry Commoner, Paul BarUett, Holger Eisl, Catherine Hill, Joyce Rosenthal, ダイオキシン及びフランの大気移動モデルの開発と実用化, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 866-871 (1998)
14	Peter Weiss, オーストリアの山岳地帯における PCDD/F 汚染の長距離移動による影響, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate),

	883-888 (1998)
15	PCB と PCDD/F の蒸気圧と水溶性に気温が与える影響, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 389 (1998)
16	T. Tojo, M. Matsuda, M. Kawano, T. Wakimoto, PCDD/F 汚染のインジケータとして植物の葉を使用, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 541-545 (1999)
17	N. Suzuki, M. Yasuda, T. Sakurai, J. Nakanishi, ダイナミックマルチメディア環境的最終変質モデルによる長期的な環境的最終変質とプロフィール変質のモデルシミュレーション, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 565-569 (1999)
18	PCDD/F における環境的最終変質と移動のシミュレーション手法の比較, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 445 (1998)
19	韓国の二大都市で大気放出されたダイオキシンの量を数学的モデルを使って算出, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 449 (1998)
20	M. Tysklind, P. L. Andersson, POP の最終変質とリスクアセスに数量的な構造/活性関係を使用, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 574-578 (1999)
21	A. Holmgren, D. Broman, T. Larm, V. Cvetkovic, スtockホルムにおける下水道システム内の PAH, PCDD/F, PCB のフラックスモデル, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 546-548 (1999)
22	S. Sinkkonen, J. Paasivirta, 最終変質モデリングのための PCDD/F・PCB 半減期の計算, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 570-573 (1999)
23	P. Weiss, オーストラリアにおける森林の POP 汚染の質量バランスと放出データとの比較, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Transport and Fate), 518-520 (1999)

表 7-2 (4) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の特性] ④ 生物蓄積性

1	酒井伸一, ダイオキシン類の発生・移動・蓄積過程と水環境, 水環境学会誌 Vol. 21 No. 7, 2-7 (1998)
2	PCB の淡水水生生物の食物連鎖のフィールド評価, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Ecotoxic), 193 (1997)
3	K. Noren, D. Meirinyte, スウェーデンにおける母乳の汚染: Org-Cl の低下と Org-Br の増加, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Human Exposure), 611-614 (1999)
4	疎水性有機化合物のスパイク底質毒性: ダイオキシンと PCB, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 39 (DIOXIN '98:Ecotoxic), 9 (1998)
5	親からのダイオキシンによって子が受ける影響, 早産, 成長の遅れ, 幼児死, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Epidemiology), 223 (1998)

表 7-2 (5) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の毒性] ① 毒性の種類

1	環境庁ダイオキシンリスク評価検討会, ダイオキシンリスク評価検討会報告書(その1), 都市と廃棄物 Vol. 27 No. 10, 68-75 (1997)
2	環境庁ダイオキシンリスク評価検討会, ダイオキシンリスク評価検討会報告書(その2), 都市と廃棄物 Vol. 27 No. 11, 43-54 (1997)
3	環境庁ダイオキシンリスク評価検討会, ダイオキシンリスク評価検討会報告書(その3), 都市と廃棄物 Vol. 28 No. 2, 36-46 (1998)
4	環境庁ダイオキシンリスク評価検討会, ダイオキシンリスク評価検討会報告書(その4), 都市と廃棄物 Vol. 28 No. 3, 45-55 (1998)
5	環境庁ダイオキシンリスク評価検討会, ダイオキシンリスク評価検討会報告書(その5), 都市と廃棄物 Vol. 28 No. 4, 26-34 (1998)
6	環境庁ダイオキシンリスク評価検討会, ダイオキシンリスク評価検討会報告書(その6), 都市と廃棄物 Vol. 28 No. 6, 52-59 (1998)
7	宮田秀明, 暮らしとダイオキシン。その毒性・摂取量とリスク-, C & G Vol. 9 No. 2, 69-74 (1998)
8	松井三郎, 松田知成, 内分泌攪乱化学物質 (環境ホルモン), 廃棄物学会誌 Vol. 10 No. 1, 67-74 (1999)
9	片瀬隆雄, 可塑剤フタル酸エステル乱用の乱用, 化学 Vol. 53 No. 7, 40-42 (1998)
10	大田壮一, 金谷優, 外池克成, 中尾晃幸, 青笹治, 宮田秀明, ヒト肝ガン細胞を用いたバイオアッセイ法によるダイオキシン類の環境リスク評価法の開発 (第2報), 第7回環境化学討論会講演要旨集, 58-59 (1998)
11	中尾晃幸, 寺岡正志, 青笹治, 太田壮一, 宮田秀明, 燃焼過程におけるダイオキシン類等の人体汚染物質の生成機構の解明~木材およびプラスチック製品の混合燃焼時におけるダイオキシン類の生成実態~ (第2報), 第7回環境化学討論会講演要旨集, 146-147 (1998)
12	浦瀬太郎, 山田和哉, 松尾友矩, 廃棄物処分場浸出水中に見いだされる内分泌攪乱化学物質, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 830 (1998)
13	堀伸二郎 他, ダイオキシン関連物質の毒性評価に関する研究, 大阪府公衆衛生研究所報告 食品衛生編 No. 25, 56 (1994)
14	Brandtl 他, 持続性環境汚染物質の発育及び生殖毒性, Arch Toxicol No Supplement 20, 111 (1998)
15	長谷川隆一, 内分泌障害性物質 主として環境中のエストロゲン作用物質について, ファルマシア Vol. 33 No. 12, 1333 (1997)
16	日本公衆衛生協, 外因性内分泌攪乱化学物質問題に関する研究班中間報告, 外因性内分泌攪乱化学物質問題に関する研究班中間報告書 平成9年度, 132 (1997)
17	Crain D A 他, 自然あるいは実験的に環境汚染物質に曝露されたワニ (Alligator mississippiensis) のステロイド生成の変化, Environ Health Perspect Vol. 105 No. 5, 528 (1997)
18	Hayes T B 他, 無尾両生類のコルチコステロン処理結果として生じるDDT類似の影響 - DDTはコルジコイド模倣物かストレスサカ?, Environ Toxicol Chem Vol. 16 No. 9, 1948 (1997)
19	Gendron A D 他, 塩素化炭化水素に曝露した野生の両生類マッドバビーにおけるコルチコステロン生産系の機能保全に関する in vivo 試験, Environ Toxicol Chem Vol. 16 No. 8, 1694 (1997)
20	Danzo B J, 環境異物はステロイド受容器への生理学的配位子の結合と結合タンパク質による攪乱によって正常内分泌機能を崩壊する, Environ Health Perspect Vol. 105

	No. 3, 294 (1997)
21	Verma S P 他, 植物天然物のクルクミン及びゲニステインはエストロゲン様殺虫剤により誘導されるヒト乳癌 C F - 7 細胞の成長に協奏的効果効果を示した, Biochem Biophys Res Commun Vol. 233 No. 3, 693 (1997)
22	安田峯生, 化学物質安全性の今日の問題 環境化学物質の内分泌攪乱作用, 化学と工業 Vol. 50 No. 4, 543 (1997)
23	Zou E 他, 合成女性ホルモンの物質は性の分化作用を妨害しないミジンコ Daphniamagna の脱皮を阻害する, Bull Environ Contam Toxicol Vol. 58 No. 4, 596 (1997)
24	Kopf W, 水生生物の生物試験における内分泌関与物質の作用, Muenchener Beitr Abwasser Fisch Flussbil Vol. 50, 82 (1997)
25	Schaefer W, 環境化学物質が生殖に与える影響の調査, Muenchener Beitr Abwasser Fisch Flussbil Vol. 50, 20 (1997)
26	Wiese T E 他, 環境エストロゲンへの導入, Chem Ind (Lond) No. 16, 648 (1997)
27	香山不二雄, 環境ホルモン問題の現状 内分泌攪乱化学物質の健康影響, 生活と環境 Vol. 42 No. 6, 1997 (1997)
28	青山勲, 生態毒性の評価とバイオアッセイ, 廃棄物学会誌 Vol. 9 No. 5, 358-367 (1998)
29	人体内の PCDD/F, 1996 年ドイツのデータ追加調査, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Ecotoxic), 530 (1997)
30	PCDD/F と PCB に汚染されたメスの sprage-dewley ラットの甲状腺ホルモン代謝の生殖的影響, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 34 (DIOXIN '97:Ecotoxic), 370 (1997)
31	魚をダイオキシン毒性調査における脊髄モデルとして使用, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Toxicology), 279 (1998)
32	F. X. Rolafvan, M. Younes, WHO が一日におけるダイオキシン許容摂取量を改訂, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Risk Assesment and Management), 595-598 (1999)
33	M. DeVito, TEFs - 代替法と将来, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Risk Assesment and Management), 599-601 (1999)

表 7-2 (6) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の毒性] ② 毒性の対象

1	田中勝, ごみ処理と健康-ダイオキシン削減対策について-, 都市清掃 Vol. 50 No. 217, 72-81
2	所沢市保健センター, 平成 9 年度母乳及び毛髪・血液中のダイオキシン類濃度調査結果 (中間報告), 都市と廃棄物 Vol. 28 No. 6, 34-43 (1998)
3	宮田秀明, 中尾晃幸, 青笹治, 大田壮一, 栗山真一, バッチ式一般固形廃棄物焼却炉周辺地域におけるダイオキシン類汚染実態の究明 (第 3 報)-健康影響評価-, 第 7 回環境化学討論会講演要旨集, 26-27 (1998)
4	雀宰源, 蔭山貴枝, 松田宗明, 河野公栄, 脇本忠明, 関丙允, 河口城 (韓国洛東江) 環境中の有機塩素化合物汚染 IV 鳥類に蓄積しているダイオキシン類, 第 7 回環境化学討論会講演要旨集, 110-111 (1998)
5	松枝隆彦, 平川博仙, 飯田隆雄, 長山淳哉, 血液中のダイオキシン類濃度, 第 7 回環境化学討論会講演要旨集, 134-135 (1998)
6	飯田隆雄, 平川博仙, 松枝隆彦, 長山淳哉, 母乳中のダイオキシン類濃度, 第 7 回環境化学討論会講演要旨集, 136-137 (1998)

7	岩田久人, 残留性有機塩素化合物の水圏生態系への影響—特にダイオキシン類に着目して—, 水環境学会誌 Vol. 21 No. 7, 13-17 (1998)
8	Bjerregaard P 他, 水系環境における内分泌攪乱物質のモニタリングと危険性評価バイオマーカ研究, Arch Toxicol No. Supplement 20, 97 (1997)
9	イギリスにおける食料からの PCB 汚染の再評価, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Human Exposure), 402 (1997)
10	1965-67 年に Ufa (Bashkortostan 共和国) にある 245-T プラントからの 2, 3, 7, 8-TCDD に汚染された人々とその子の性比率, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Toxicology), 322 (1997)
11	焼却炉からのダイオキシン排出を吸入したことによる汚染のリスクをモンテカルロシミュレーションで数量化, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 34 (DIOXIN '97:Toxicology), 74 (1997)
12	Ernst-Josef Spindiet, 加熱プロセスでダイオキシンは重要な発ガン性物質?, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Toxicology), 927-933 (1998)
13	有機塩素化合物とダイオキシンによる工業作業員の寿命への影響評価, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 34 (DIOXIN '97:Toxicology), 436 (1997)
14	F. X. R. van Leeuwen, 人間と野生動物におけるダイオキシン様化合物の TEF, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Toxicology), 939-945 (1998)
15	PCB とダイオキシンに汚染されたオランダの乳児の体重と成長具合, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 34 (DIOXIN '97:Toxicology), 447 (1997)
16	Paul Pinsky, Matthew Lorber, 過去の 2, 3, 7, 8-TCDD 汚染を評価するモデル, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 760-763 (1998)
17	A. K. Djien, Ronald Hoogerbrugge, Carin Cuikpers, Ronald den Hartog, Willie Human, Sylvia Linders, Jan Marsman, Els van der Velde, Bert Zomer, オランダにおけるダイオキシン/PCB の食料からの感染の傾向: 食料調査 (複製) からの結果, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 764-766 (1998)
18	Peter Furst, Klaus Wilmers, 1989-96 年における食料経路 PCDD/F 摂取量の低下, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 767-769 (1998)
19	感染マージンの特定: ダイオキシンにおける非発ガン性の健康リスクの評価, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Toxicology), 313 (1997)
20	ウクライナと米国の母乳におけるダイオキシン, ジベンゾフラン, co-PCB の分量, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 21 (1998)

表 7-2 (7) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の毒性] ③ 毒性発現期間

1	イギリスの汚染地に住む住民からの母乳の PCDD/F 分量, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 33 (1998)
2	ミズーリ州タイムビーチ焼却炉の周辺に住む住民の汚染度調査, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 41 (1998)
3	汚染経路ファクターを使って人間が土壌 PCDD/Fs から受ける影響を予測, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 53 (1998)



4	オランダにおけるダイオキシンと PCB , ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 59 (1998)
5	PCDD/Fs の増加：汚染された果肉の使用によってドイツの牛乳やバターが汚染, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 65 (1998)
6	ニュージーランドで販売される食料の PCDD/Fs と PCB 濃度, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 71 (1998)
7	食肉サンプル内に含まれるダイオキシン及び PCB の二十世紀にわたっての傾向, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 75 (1998)
8	ノルウェーにおける食料からの汚染とダイオキシンとダイオキシン様 PCB が人体にかかる負担, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 38 (DIOXIN '98:Human Exposure), 79 (1998)

表7-2 (8) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の毒性] ④ リスクに及ぶ範囲

1	牧谷邦昭, ダイオキシンに関する環境保全の取組の動向, 廃棄物学会誌 Vol. 8 No. 4, 279-288 (1997)
2	宮田秀明, ダイオキシン類の環境汚染とリスク評価, 廃棄物学会誌 Vol. 8 No. 4, 301-311 (1997)
3	清家伸康, 松田宗明, 河野公栄, 脇本忠明, 松山平野におけるダイオキシン類の環境動態 II-底質中のダイオキシン類について-, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 18-19 (1998)
4	大田壮一, 中尾晃幸, 青笹治, 宮田秀明, 棚橋道郎, 埼玉県におけるダイオキシン類による環境汚染実態の究明 (第2報), 第7回環境化学討論会講演要旨集, 28-29 (1998)
5	進藤秀, 後藤洋, 高橋敬雄, 新潟県内環境水中のビスフェノールAについて, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 72-73 (1998)
6	渡辺功, 宮田秀明, 火災等残灰試料中の含臭素ダイオキシン類について, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 118-119 (1998)
7	鈴木規之, 安田正志, 桜井健郎, 中西準子, 環境モデルに基づくダイオキシン類の環境動態の解析, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 130-131 (1998)
8	橋本俊次, 柴田康行, 森田昌敏, 田中博之, 谷津明彦, イカ肝臓を指標とした海洋におけるダイオキシン類モニタリング, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 132-133 (1998)
9	先山孝則, 福島実, 都市環境におけるダイオキシン類について, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 138-139 (1998)
10	出口晋吾, 浦野真弥, 高月紘, 恵和子, 佐藤哲志, 大阪湾及び琵琶湖底質中PCDDs /DFs の歴史トレンド解析, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 681-683 (1998)
11	宮田秀明, ダイオキシン 文明社会への警告 健康とダイオキシン類, いんだすと Vol. 12 No. 11, 55 (1997)
12	香山不二雄, 内分泌攪乱化学物質の健康リスク, 大気環境学会年会講演要旨集 Vol. 38, 266 (1997)

表7-2(9) 文献リスト(学術的な知見に関する情報)

[物質の拡散] ① 排出源

1	日本環境衛生工業会, 焼却施設の具体的なダイオキシン対策について, 都市清掃 Vol. 50 No. 218, 245-271 (1997)
2	川西敏雄, 堀井安雄, 有元健太郎, 田中勝, 最終処分場埋立浸出水中のダイオキシンの処理, 都市清掃 Vol. 50 No. 218, 272-275 (1997)
3	浦邊真郎, 勝井征三, プレコート式バグフィルタによるごみ焼却炉排ガス中のダイオキシン類の除去, 都市清掃 Vol. 50 No. 219, 389-395 (1997)
4	井川和義, 飛灰中ダイオキシン加熱脱塩素化装置の運転実績, 都市清掃 Vol. 51 No. 223, 125-129 (1998)
5	酒井伸一, ダイオキシンは減らせるか。ダイオキシン類と制御方法一, C & G Vol. 9 No. 2, 75-81 (1998)
6	平岡正勝, 廃棄物処理におけるダイオキシン対策をめぐる最近の動向, 廃棄物学会誌 Vol. 8 No. 4, 266-278 (1997)
7	酒井伸一, ダイオキシン類の発生抑制と環境サイクルコントロール, 廃棄物学会誌 Vol. 8 No. 4, 322-335 (1997)
8	川本克也, 山口尚夫, 佐藤淳, 米田主, 加藤正滋, 都市ごみ焼却排ガスに関するダイオキシン類の代替指標-クロロベンゼン類, クロロフェノール類および揮発性全有機ハロゲン化合物の適用性, 第8回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 562-564 (1997)
9	吉田裕, 渡邊和彰, 椎名知行, 石川龍一, 既設炉におけるダイオキシン類排出抑制, 第8回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 584-586 (1997)
10	塚本輝彰, 佐藤誉司, 佐々木信, 二村修, 新設焼却炉からのダイオキシン類排出状況, 第8回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 590-592 (1997)
11	佐々木信, 佐藤誉司, 塚本輝彰, 池永康博, 二村修, 新設都市ごみ焼却炉における亜酸化窒素とダイオキシンの排出挙動, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 690-692 (1998)
12	今井知之, 藤井泰彦, 松井敏樹, 磯合勝, 井上弘, 石原正規, 浮田雅之, 間欠運転焼却炉における酸化鉄触媒を用いたダイオキシン抑制実証試験, 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 720-722 (1998)
13	松田宗明, 澤田征利, 河野公栄, 脇本忠明, 清掃工場周辺環境におけるダイオキシン類汚染について, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 24-25 (1998)
14	中尾晃幸, 青笹治, 大田壮一, 宮田秀明, 大阪湾岸部のダイオキシン類による海洋汚染実態-阪神大震災後の海洋汚染影響調査-第7回環境化学討論会講演要旨集, 142-143 (1998)
15	山本貴士, 安原昭夫, 廃プラスチックからのビスフェノールAの溶出, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 252-253 (1998)
16	山田和哉, 浦瀬太郎, 松尾友矩, 鈴木規之, 異なる形式の廃棄物処分場の浸出水中の微量有機成分の計測とその浸出水処理過程での挙動, 水環境学会誌 Vol. 22 No. 1, 40-45 (1999)
17	蒲敏幸 他, ごみ焼却場の排ガス処理過程におけるポリ塩化ジベンゾフランについて, 京都府公害研究所年報 No. 36, 188 (1991)
18	赤松哲也 他, パチンコ電子基板中のPCB分析, 仙台市衛生研究所報 No. 25, 110 (1995)
19	井上三郎, ごみ焼却炉における塩素化有機物の挙動, 大阪市立環境科学研究所報告 No. 47, 22 (1991)
20	渡辺功 他, 金属回収に伴って燃焼生成するハロゲン化ジベンゾ-p-ダイオキシン及びジベンゾフラン: II 臭素化及び臭素・塩素化ジベンゾ-p-ダイオキシン及びジベンゾ

	フラン, 大阪府立公衆衛生研究所報告 公衆衛生編 No. 31, 119 (1993)
21	アリゾナ州フェニックスにおける大気内 PCDD/F の発生源, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Formation & Sources), 145 (1997)
22	米国内のディーゼル車輛からの PCDD/F 放出量の測定, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Formation & Sources), 151 (1997)
23	廃材の焼却と阪神大震災での火災によるダイオキシンの形成, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 31 (DIOXIN '97:Formation & Sources), 304 (1997)
24	Patrick Mahoney, Gray Pierce, Gordon Sutin, 最低限のダイオキシン放出と最大資源回収率, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】 (DIOXIN '97:Emissions), 308-316 (1998)
25	Shin-ichi Sakai, Masakatsu Hiraoka, Michio Ishida, Ryoza Shiji, Peng Nie, Noriyuki Nakamura, 焼却施設からの PCDD/F 放出の総量, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】 (DIOXIN '97:Emissions), 324-330 (1998)
26	Hans Hunsinger, Siegfried Kreis, Helmut Seifert, ごみ焼却炉での高温部分の塩化芳香化合物の傾向, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】 (DIOXIN '97:Emissions), 331-336 (1998)
27	事故による PCDD/F 形成の危険性, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 34 (DIOXIN '97:Formation & Sources), 71 (1997)
28	Jochen Theisen, Stephan Hamm, ArPVC 関連の火災の煙によって汚染された食料の PCDD/F 汚染, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Levels in Food), 600-606 (1998)
29	Duncan Giroy, Michael Heumann, Donald Patterson, Wyman Turner, Larry Needham, Vincent Mortimer, 医療廃棄物焼却炉による病院勤務員の PCDD/F と PCB 汚染, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Human Exposure), 917-921 (1998)
30	Heinz Weber, Ralf Hamann, Gerd Disse, Hans-Jurgen Haupt, 異なる処理法が下水道汚泥の PCDD/F 濃度に与える影響, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Sources), 670-674 (1998)
31	Ralf Hamann, Heinz Weber, Gerd Disse, Hans-Jurgen Haupt, 大規模下水道汚泥の PCDD/F 処理施設の PCDD/F 濃度, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Sources), 675-677 (1998)
32	D. Cleverly, J. Schaum, D. Winters, G. Schweer, K. O'Rourke, 米国内のダイオキシン類, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Formation and Sources), 128-132 (1999)
33	PCDD/Fs のインジケータパラメータ: 焼却炉の比較, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '98:Formation and Sources), 37 (1997)
34	R. Weber, T. Sakurai, H. Hagenmaier, 流動床焼却炉からの飛灰の加熱処理で起こる PCDD/Fs 形成と分解, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Formation and Sources), 92-97 (1999)
35	M. Blumenstosk, R. Zimmermann, R. Lehnardt, K.-W. Schramm, A. Kaune, HWI からの低塩化 PCDD/Fs の I-TEQ 測定, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Formation and Sources), 98-104 (1999)
36	E. Wikstroem, A. Persson, S. Marklund, 焼却プロセス中の PCDD/Fs, PCB, PCP の二次的生成, 平成 10 年度ダイオキシン海外調査報告書 (DIOXIN '98:Formation and Sources), 117-121 (1999)
37	1996 年のデュッセルドルフ空港火災の結果と他の火災との比較, ORGANOHALOGEN

	COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '97:Formation and Sources), 69 (1997)
38	流動床焼却における PCDD/Fs 形成, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 36 (DIOXIN '97:Formation and Sources), 337 (1997)

表 7-2 (10) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の拡散] ② 生産量, 使用量

1	澤地實, 村上真也, 竹田享司, 伊藤尚夫, 梅村省三, 芝川重博, 焼却残渣中のダイオキシン類濃度について, 都市清掃 Vol. 51 No. 223, 130-134 (1998)
2	佐々木信, 佐藤誉司, 塚本輝彰, 池永康博, 二村修, 都市ごみ焼却プラントにおけるダイオキシン類の総排出量事例, 第 9 回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 723-726 (1998)

表 7-2 (11) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の拡散] ③ 環境への放出量

1	益永茂樹, 中西準子, 桜井健郎, 小倉勇, 東京湾と霞ヶ浦流域におけるダイオキシン類の収支, 第 7 回環境化学討論会講演要旨集, 20-21 (1998)
2	杉田和俊, 浅田正三, 岡澤剛, 後藤純雄, 遠藤治, 森田昌敏, 粒子状物質中のダイオキシン類, 第 7 回環境化学討論会講演要旨集, 126-127 (1998)
3	小松正幹 他, ごみ焼却施設における有機塩素化合物の排出実態, 京都府公害研究所年報 No. 36, 63 (1991)
4	溝上鈴子 他, 産業廃棄物最終処分場浸出水モニタリング調査 (昭和 62 年度), 佐賀県衛生研究所報 No. 15, 107 (1989)
5	溝上鈴子 他, 産業廃棄物最終処分場モニタリング調査, 佐賀県衛生研究所報 No. 16, 121 (1990)
6	溝上鈴子 他, 産業廃棄物最終処分場モニタリング調査, 佐賀県衛生研究所報 No. 17, 78 (1991)
7	溝上鈴子 他, 産業廃棄物最終処分場モニタリング調査, 佐賀県衛生研究所報 No. 18, 100 (1992)
8	溝上鈴子 他, 産業廃棄物最終処分場モニタリング調査, 佐賀県衛生研究所報 No. 19, 112 (1993)
9	ダイオキシン類環境汚染実態調査, 埼玉県公害センター業務報告, 79 (1998)
10	佐藤明男, 東京湾におけるクロルデン, PCB, 有機スズ化合物等の汚染実態, 横浜市衛生研究所年報 No. 31, 91 (1991)
11	永田嘉七 他, 環境中における塩素化ベンゼン類の実態調査, 静岡県衛生環境センター報告 No. 22, 129 (1989)
12	渡辺功 他, 日本の環境中における臭素・塩素化ダイオキシン及びジベンゾフランについて, 大阪府立公衆衛生研究所報告 公衆衛生編 No. 34, 100 (1996)
13	Pat Costner, 塩素のインプットと燃焼から形成されたダイオキシンのアウトプットの一致: 評価と再分析, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Sources), 707-712 (1998)
14	Paul Meeter, Paul Siebert, Robert Warwich, Dorothy Canter, 焼却炉から土壌へのダイオキシン放出, 平成 9 年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Sources), 713-719 (1998)

15	William Carroll Jr., F. E. Borrelli, R. A. Jacobs, J. W. Lewis, R. L. McCreedy, D. R. Tuhovak, A. F. Weston, 米国内の EDC, VCM, PVC 製造施設からのダイオキシンとフラン放出の特徴づけ。排水処理と塩酸, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】(DIOXIN '97:Sources), 720-725 (1998)
16	Brain Gullett, Jeffrey Ryan, ディーゼルエンジンからの PCDD/F の路上サンプリング, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】(DIOXIN '97:Sources), 726-733 (1998)
17	Kurunthachalam Kannan, Isao Watanabe, John Giesy, 元 Chloroalkali プラントからの土壌/底質内の PCDD/F プロフィール, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】(DIOXIN '97:Formation), 460-463 (1998)
18	H. Huang, A. Buekens, 燃料燃焼からの PCDD/F 形成のメカニズム, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】(DIOXIN '97:Formation), 464-470 (1998)
19	R. Ishikawa, A. Buekens, H. Huang, K. Watanabe, 焼却施設内の数カ所における PCDD/F の同族体プロフィールとパターン, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】(DIOXIN '97:Formation), 471-474 (1998)
20	A. Buekens, L. Stieglitz, H. Huang, C. Dimove, E. Cornelis, 工業/鋳業プロセスからの PCDD/F 形成メカニズムの初期調査, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】(DIOXIN '97:Formation), 475-479 (1998)
21	Kenji Toyoda, Takeichi Kondo, Minoru Asai, Masanobu Naito, Shigeki Abe, Yoshio Tokeuchi, 流動床焼却炉からの排気ガス中のダイオキシン形成と分解, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】(DIOXIN '97:Formation), 480-485 (1998)
22	Michael Scholz, Ludwig Stieglitz, R. Will, G. Zwick, 飛灰での PCB 形成と PCDD/F への変質, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】(DIOXIN '97:Formation), 503-508 (1998)
23	Wolfgang Moche, Gerhard Thanner, オーストリア鉄工業周辺の PCDD/F 濃度とパターン, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】(DIOXIN '97:Sources), 663-666 (1998)
24	Heideloire Fiedler, M. Swerev, Hermann Noedsieck, Gisela Dorr, Ottu Hutzinger, 南ドイツにおける大気中 PCDD/F の長期的測定 (1993-1996), 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】(DIOXIN '97:Transport and Fate), 754-759 (1998)
25	Nobuyasu Seike, Masazi Yoshida, Muneaki Mastuda, Masahide Kawano, Tadaaki Wakimoto, 大気における PCDD/F の季節的变化, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】(DIOXIN '97:Transport and Fate), 822-825 (1998)

表7-2 (12) 文献リスト (学術的な知見に関する情報)

[物質の拡散] ④ 環境への存在量

1	酒井伸一, 出口晋吾, 浦野真弥, 高月紘, 恵和子, 佐藤哲志, 大阪湾、琵琶湖底質のダイオキシン類に関する歴史トレンド解析, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 22-23 (1998)
2	清家伸康, 松田宗明, 河野公栄, 脇本忠明, 松山平野におけるダイオキシン類の環境動態 III-松山平野におけるダイオキシン類の分布と挙動-, 第7回環境化学討論会講演要旨集, 114-115 (1998)
3	白石寛明, 橋本俊二, 安田憲二, 廃棄物埋立処分場からのダイオキシン類の負荷量調査第7回環境化学討論会講演要旨集, 120-121 (1998)
4	小倉勇, 益永茂樹, 中西準子, 関東における大気沈着ダイオキシン類の量と性状, 第

	7回環境化学討論会講演要旨集, 128-129 (1998)
5	村田徳治, 錬金術師の忘れもの 環境汚染と化学物質 (第10限) 生活環境にありふれるホルモン様物質, 資源環境対策 Vol. 34 No. 1, 103 (1998)
6	村田徳治, 錬金術師の忘れもの 環境汚染と化学物質 (第7限) 未来を奪う化学物質, 資源環境対策 Vol. 33 No. 12, 1157 (1997)
7	村田徳治, 錬金術師の忘れもの 環境汚染と化学物質 (第9限) 環境ホルモン, 資源環境対策 Vol. 33 No. 15, 1321 (1997)
8	大竹千代子 他, 環境中ホルモン様物質内分泌攪乱物質の環境曝露情報について, 環境情報科学 別冊, 159 (1997)
9	Gies A, 内分泌作用物質による環境汚染, Muenchener Beitr Abwasser Fisch Flussbil Vol. 50, 13 (1997)
10	Baskortostan 共和国における食料内の PCDD/F, 食料からの一日における摂取量, 人体への負担レベル, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 32 (DIOXIN '97:Human Exposure), 315 (1997)
17	Heideloire Fiedler, Christoph Lau, Keith Cooper, Rotf Andersson, Maria Hjelt, Christoffer Rappe, M. Bonner, F. Howell, ミシシッピ州南部の大気 PCDD/F 濃度, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 770-774 (1998)
18	Christopher Foxall, Andrew Lovett, Colin Creaser, David Ball, イギリス・南ウェールズ地方のパンテグ区における PCDD/F と PCB 濃度、及びそれらによる人間への影響, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【上巻】 (DIOXIN '97:Emissions), 285-290 (1998)
19	Peter Weiss, Wolfgang Moche, Gerhard Thanner, 森林の樹木から森林の土壌まで移動する PCDD/F 同族体のプロファイルの変化, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 857-860 (1998)
20	バイカル地方の雪の PCB 濃度, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 33 (DIOXIN '97:Levels in the Environment), 72 (1997)
21	遠方の大気中の PCDD/F 濃度, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 32 (DIOXIN '97:Levels in the Environment), 81 (1997)
22	David Cleverly, John Schaum, Gregory Schweer, Jonathan Becker, Dwain Winters, 米国内の人間からの PCDD/F における同性質物プロファイル, 平成9年度ダイオキシン海外調査報告書【下巻】 (DIOXIN '97:Sources), 699-706 (1998)
23	EPA 国内下水道汚泥調査 (NSSS) : 再計算, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 32 (DIOXIN '97:Levels in the Environment), 94 (1997)
24	ジョージア州サバンナからの土壌サンプルとの PCDD/F と PCB, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 32 (DIOXIN '97:Levels in the Environment), 192 (1997)
25	イギリスにおける陸及び水へのダイオキシン放出の評価, ORGANOHALOGEN COMPOUNDS Vol. 32 (DIOXIN '97:Transport and Fate), 411 (1997)

表7-3(1) 文献リスト(マスメディアによる情報)

[物質の特性] ① 分解性

No.	記 事 名	文 献
1	[話題を深る] キノコがダイオキシンを分解する?	化学, 1997.10
2	[研究最前線] 超臨界水によるダイオキシンの分解	化学, 1997.10
3	ダイオキシン 短期間で99.7%分解 物質研 超臨界水で実用実験	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 199(1997.3)
4	発がん性物質ダイオキシン キのこが分解 福岡県九大が発見	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 297(1997.3)
5	ダイオキシン 低周波放電で効率分解 工技院資源環境研	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 354(1997.5)
6	ダイオキシン分解へ第一歩 日本分光 超臨界流体解析システムを開発	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 54(1997.6)
7	水中のダイオキシン分解 クボタ、装置を開発	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 33(1997.7)
8	ダイオキシン 99%分解 日本触媒 触媒と装置発売	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 292(1997.7)
9	工技院・ごみ焼却灰のダイオキシン分解技術 固定式荏原、可搬式 オルガノ 共同開発企業決まる	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 287(1997.8)
10	産業プロセスのダイオキシン対策 分解技術開発など推進(通産省)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 375(1997.8)
11	ダイオキシン低減 ごみ焼却炉改修技術確立 (ゼオン エンジ)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 73(1997.9)
12	ダイオキシン対策あの手この手2 分解用触媒	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 28(1997.10)
13	ダイオキシン対策あの手この手6 微生物の利用	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 53(1997.10)
14	ダイオキシン対策あの手この手5 超臨界水利用	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 60(1997.10)
15	ダイオキシン 蓄熱体で急冷分解	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 343(1998.2)
16	農業廃プラを熱分解 ダイオキシン発生防止 (元田電子)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 437(1998.2)
17	キノコの仲間でダイオキシン分解 福岡県保健環境研など	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 327(1998.3)
18	バグフィルターでダイオキシン分解 (日立プラント)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 18(1998.5)
19	猛毒ダイオキシン 微生物での分解 応用研究入り(愛媛大・九大など)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 330(1998.5)
20	ここがポイント 私の研究 環境ホルモン分解微生物	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 201(1998.7)
21	ダイオキシンの分解効率 10 倍以上 ごみ焼却炉用 新触媒システム発売(シェルグループ)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 168(1998.8)
22	ダイオキシン ステビアに分解効果 JBBステビア研が発見	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 257(1998.8)
23	ダイオキシン分解99.9%超 シェルジャパンが新触媒システム 多層構造で低温活性優れる	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 268(1998.8)
24	光触媒でダイオキシン分解 KASTが研究着手 産学官で装置開発目指す	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 310(1998.9)
25	水中のダイオキシン 紫外線を使い分解 クボタ	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 83(1998.10)
26	ダイオキシン汚染 分解処理で指針	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 158(1998.11)
27	分解技術 実用化へ 土壌汚染ダイオキシン 微生物の利用も 環境庁	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 93(1998.12)
28	ダイオキシンの 99.7%分解 超臨界水利用し新処理法 通産省工業技術院	GREEN REPORT, 102(1997.6)
29	ダイオキシン分解する菌発見 愛媛大教授ら	GREEN REPORT, 100(1998.2)
30	ダイオキシン キノコが分解 「白色腐朽菌」が効果 九大と県保健環境が確認	GREEN REPORT, 97(1998.6)
31	焼却炉発生のダイオキシン 電気分解に成功 盛岡大	GREEN REPORT, 101(1998.8)
32	ダイオキシン対策にEM菌 90%の抑制を確認	GREEN REPORT, 101(1998.9)
33	ダイオキシンなど有害物質 光触媒で分解処理 キンダイバイオ研 工技院と装置開発	GREEN REPORT, 48(1998.10)
34	土壌汚染ダイオキシン 分解技術 実用化へ 微生物の利用も 環境庁	GREEN REPORT, 25(1999.1)
35	キノコの酵素で環境ホルモン分解 3日間で90%以上 環境浄化技術に応用へ 新潟大	GREEN REPORT, 101(1999.2)

表7-3(2) 文献リスト(マスメディアによる情報)

## [物質の特性] ② 水・大気・土壌(底質)分配比

No.	記 事 名	文 献
1	諏訪湖 泥に環境ホルモン 環境庁調査	GREEN REPORT, 9(1998.5)

表7-3(3) 文献リスト(マスメディアによる情報)

## [物質の特性] ③ 拡散性

No.	記 事 名	文 献
1	環境ホルモン水質調査 ノニルフェノール汚染 もっとも広範囲76%に 環境庁が全国130地点で	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 178(1998.12)
2	コメの汚染調査へ 原告団明らかに 城取清掃工場周辺ダイオキシン問題	GREEN REPORT, 18(1998.11)
3	神奈川県などに対象地域を拡大 母乳ダイオキシン調査厚生省	GREEN REPORT, 31(1998.11)
4	河川・海のダイオキシン 流れ込む農薬含有 水田土壌対策を急ぐ時	GREEN REPORT, 108-109(1998.12)
5	環境ホルモン 脳や胎児へも流入 マウス実験で初確認横浜市大	GREEN REPORT, 8(1999.1)
6	玄米中のダイオキシン もみ殻から移行か	GREEN REPORT, 109(1999.1)
7	10地点から4物質検出 県、環境ホルモン調査結果を発表 対象全河川、大気からも	GREEN REPORT, 112-113(1999.1)

表7-3(4) 文献リスト(マスメディアによる情報)

## [物質の特性] ④ 生物蓄積性

No.	記 事 名	文 献
1	資料 平成9年度埼玉県環境大気中及び母乳中のダイオキシン類調査結果(埼玉県)	月刊廃棄物, 42(1998.10)
2	1日摂取量 5pg/kg ダイオキシン 環境庁が目安	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 19(1997.1)
3	排ガスで精子数減少 ディーゼル車 窒素酸化物影響か都立衛生研	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 208(1998.12)
4	人の卵巣からダイオキシン 東大医学部と国立環境研生殖器官 初の検出	GREEN REPORT, 110(1998.12)
5	環境ホルモン検出 イヌワシの卵、ひなから 高い蓄積度、次世代移行を確認	GREEN REPORT, 92(1999.2)

表7-3(5) 文献リスト(マスメディアによる情報)

## [物質の毒性] ① 毒性の種類

No.	記 事 名	文 献
1	内分泌かく乱化学物質への環境庁の対応方針について	月刊廃棄物, 10(1998.10)
2	内分泌かく乱化学物質関連年表	月刊廃棄物, 22(1998.10)
3	ダイオキシンのリスク評価 (環境庁・検討会中間報告から)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 142(1997.2)
4	ホルモン様化学物質研究 生殖影響を探る (国環研が3年計画)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 248(1997.2)
5	ダイオキシン「発がん性ある」 国際機関、評価見直し	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 128(1997.3)
6	ダイオキシンに発がん性は”ある” IARCが評価見直す 厚生、環境庁 検討会に反映も	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 146(1997.3)
7	雄の生殖機能に影響大 オクチルフェノール暴露 米でマウス実験	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 341(1997.3)
8	脅かされる生殖機能 ホルモン様化学物質を追う 3 困惑する産業界	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 132(1997.4)



9	脅かされる生殖機能 ホルモン様化学物質を追う 動き出した国際機関	4	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 213(1997.4)
10	脅かされる生殖機能 ホルモン様化学物質を追う 対照的な欧米と日本の行政対応	5	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 307(1997.4)
11	脅かされる生殖機能 ホルモン様化学物質を追う 求められる市民の自己防衛	6	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 32(1997.5)
12	エンドクリン問題 重大な毒性影響ない 今後も継続研究を		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 8(1997.6)
13	ダイオキシンや塩素系殺虫剤 生殖への影響調査		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 74(1997.7)
14	「外因性内分泌攪乱化学物質問題に関する研究班中間報告」の概要<上>		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 178(1997.8)
15	「環境ホルモン」の恐怖 生体を巧みにだます化学物質		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 343(1997.10)
16	ピルは環境ホルモンか 天然ホルモンの100倍の作用 (英国環境庁)		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 300(1998.2)
17	環境ホルモンの毒性レベル予測 (昭和薬大グループと 富士通)		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 19(1998.3)
18	P S エストロゲン性なし スチレン工業会 蘭研究機 関通じ確認		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 102(1998.7)
19	コプラナーPCB 環境庁が規制対象に ダイオキシン 並みの毒性		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 457(1998.7)
20	成長後も悪影響 環境ホルモン 生殖機能が低下 国立 環境研など		環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 156(1998.12)
21	環境ホルモンに挑む 研究、新局面に(PERT3) 3 生体影響で情報不足 深まる化学業界との対立		GREEN REPORT, 6-7(1999.1)
22	環境ホルモン国際シンポ 低濃度でも毒性 市民向けプ ログラム		GREEN REPORT, 8-9(1999.1)

表7-3(6) 文献リスト(マスメディアによる情報)

[物質の毒性] ② 毒性の対象

No.	記 事 名	文 献
1	ダイオキシンが人体に入るとどうなるか~子宮内膜症、 精子数の減少、母乳中のダイオキシン濃度、神経障害と の関係について~	月刊廃棄物, 5(1998.10)
2	ダイオキシンで指針値 健康リスク評価 環境庁検討 会が報告	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 262(1997.1)
3	各国におけるダイオキシン類摂取基準 (環境庁検討会 報告から)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 342(1997.1)
4	エンドクリン問題 人への影響調査を (環境庁研究班)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 44(1997.8)
5	人の健康影響調査を 環境庁がホルモン様化学物質問題 で中間報告	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 186(1997.8)
6	内分泌かく乱化学物質 厚生も研究班 ヒトへの影響調 査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 394(1997.10)
7	ダイオキシンの影響 精液つくる器官が縮小	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 90(1997.11)
8	環境ホルモン講演会 川魚の精子が減少	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 200(1997.12)
9	ワニのふ化率減らす 環境ホルモン	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 355(1997.12)
10	止められるか環境ホルモンの人体汚染	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 142(1998.1)
11	野生生物は警告する 環境ホルモン汚染	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 149(1998.1)
12	生殖異常招く化学物質検出	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 163(1998.1)
13	ダイオキシン 海や河川も汚染拡大 環境庁調査 魚の 一部が高濃度	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 164(1998.1)
14	環境ホルモン メダカ(米国産)で監視	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 9(1998.2)
15	環境庁 ダイオキシンとエンドクリン問題 人、生 物の汚染調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 133(1998.2)
16	カエルの奇形と微量化学物質による環境汚染 >上<	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 193(1998.2)
17	カエルの奇形と微量化学物質による環境汚染 >下<	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 296(1998.2)
18	”エストロゲン性”確認へ スチレン工業会 TNO に動物実験依頼	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 77(1998.3)
19	生殖障害物質が溶出 ごみ減量へ期待のプラスチック容 器 (環境庁)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 123(1998.3)

20	多摩川のコイに精巣異常が多発	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 176(1998.4)
21	巻き貝 生殖器の異常急減 有機スズの規制が奏功	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 248(1998.4)
22	焼却場近くの牧場の牛乳 ダイオキシン高濃度(帯広畜産大調査)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 270(1998.4)
23	環境ホルモン 魚類に影響 水産学会で報告相次ぐ	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 271(1998.4)
24	環境ホルモンが複合作用 魚類の産卵など阻害 九大研究グループが確認	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 335(1998.4)
25	エンドクリン問題 建設省は河川調査 生態調査など	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 456(1998.4)
26	ダイオキシン 母乳から高濃度検出 厚生省が4都道府県調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 508(1998.4)
27	環境ホルモン ヘその緒・精子を調査(環境庁)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 159(1998.5)
28	ダイオキシンTDI 環境庁も中環審に 月内、見直し諮問	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 65(1998.7)
29	日本人の精子運動機能 全世代で低下 環境ホルモンシンポ 報告	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 106(1998.7)
30	血液中ダイオキシン濃度測定 統一基準を策定へ 厚生	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 124(1998.7)
31	環境ホルモン 動物園などに協力要請 環境庁、野生生物の実態調査で	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 190(1998.7)
32	ダイオキシン 健康への影響調査 環境庁 埼玉・所沢と大阪・能勢	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 142(1998.8)
33	環境庁 野生生物11種を調査 ダイオキシン汚染 今秋から来春めど	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 206(1998.8)
34	魚や植物で環境汚染監視 通産省	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 114(1998.9)
35	食品バンクで20年保存 環境ホルモンなど健康影響調査 厚生省、来年度から	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 29(1998.10)
36	環境ホルモン 米欧と共同研究 聖マリアンナ医大など精子減少を検証へ	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 158(1998.10)
37	ビスフェノールA 健康への影響ない 日米欧策業界団体が共同検証 現行基準で安全	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 269(1998.10)
38	ズームイン 「精子減少」原因は環境ホルモン? 動物で疑い濃厚に 日米欧の共同研究始動	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 271(1998.10)
39	ヘその緒からダイオキシン 環境庁、厚生省調べ 胎児、化学物質汚染進む ビスフェノールAなども	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 354(1998.10)
40	内分泌かく乱物質 出生児対象に調査 環境庁検討会リスク評価計画公表	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 378(1998.10)
41	内分泌かく乱物質 調査物質を追加 建設省環境庁水域対象、低質・魚類も	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 164(1998.11)
42	胎児から環境ホルモンヘその緒で検出 東京農大など	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 210(1998.12)
43	ダイオキシン 子宮内膜症に影響か	GREEN REPORT, 111(1997.2)
44	ダイオキシンに発がん性がある 国際機関 評価見直し	GREEN REPORT, 110(1997.3)
45	ダイオキシン汚染 母乳の濃度を調査 埼玉	GREEN REPORT, 11(1997.5)
46	ダイオキシンの母乳摂取 甲状腺ホルモン減少 九大チーム 乳児を調査	GREEN REPORT, 110(1997.6)
47	ダイオキシン人体影響調査 血液・母乳・髪、サンプルに 厚生省 来年度から本格化	GREEN REPORT, 22(1997.7)
48	動物の性を混乱させる化学物質 女性ホルモン作用が原因	GREEN REPORT, 105(1997.7)
49	ダイオキシン汚染防止策 知事が国へ要望 関東知事会議	GREEN REPORT, 29(1997.11)
50	環境汚染心配? 精子の数を調査 全国で厚生省	GREEN REPORT, 111(1998.1)
51	ダイオキシン汚染 魚類からの検出、大幅増 環境庁の調査	GREEN REPORT, 5(1998.2)
52	自家焼却の自治体で高い「新生児死亡率」 ダイオキシン市民団体調査(埼玉県)	GREEN REPORT, 75(1998.3)
53	多摩川のコイ 精巣異常 環境ホルモンの影響か 府中市内で学者グループが調査	GREEN REPORT, 88(1998.3)
54	オスのカレイ類から 卵黄タンパク検出 環境ホルモンの影響?(東京水産大)	GREEN REPORT, 96(1998.3)
55	ダイオキシン母乳調査 三芳町、県平均下回る(埼玉県)	GREEN REPORT, 108(1998.4)
56	ダイオキシン母乳調査 一日摂取量は基準の7倍(埼玉県)	GREEN REPORT, 112(1998.4)
57	若者の精子 運動能力低下 帝京大教授ら京で発表 環境ホルモンが影響?	GREEN REPORT, 112(1998.4)
58	環境ホルモン カレイにも生殖異常 東京水産大グループ	GREEN REPORT, 7(1998.5)

	プ発表	
59	母乳中のダイオキシン 厚生省が中間結果発表 所沢で安全指針上回る(埼玉県)	GREEN REPORT, 112(1998.5)
60	ダイオキシン 母乳濃度 許容量の7倍 厚生省調査	GREEN REPORT, 113(1998.5)
61	牛乳のダイオキシン 焼却場近くは高濃度 帯広畜産大教授調査	GREEN REPORT, 114(1998.5)
62	牛乳のダイオキシン 「抜本的対策、急いで」 業界・市民に戸惑いの声	GREEN REPORT, 114(1998.5)
63	よみがえれ環境 第8部 地球が乱れる 5 母乳の危機	GREEN REPORT, 138(1998.5)
64	環境ホルモン 人体への影響 厚生省も調査	GREEN REPORT, 4(1998.6)
65	環境ホルモン検討会 若者の精子濃度低い	GREEN REPORT, 6(1998.6)
66	ダイオキシン 野鳥の体汚染 愛媛大、韓国で調査	GREEN REPORT, 84(1998.6)
67	クマタカから環境ホルモン 岐阜大、汚染実態調査へ	GREEN REPORT, 90(1998.6)
68	「環境ホルモン」取り組み 県庁内に連絡会議(愛知県)	GREEN REPORT, 37(1998.7)
69	環境ホルモンの影響測定 魚類対象 抗体反応で簡単にクマモト抗体研究所が開発	GREEN REPORT, 46(1998.7)
70	検査の協力者募集 男性対象 環境ホルモン影響で 聖マリアンナ医大教授(神奈川県)	GREEN REPORT, 100(1998.7)
71	夢中人 ■ヒキガエルで化学物質チェック	GREEN REPORT, 100(1998.8)
72	ダイオキシン免疫毒性 測定方法を開発 東北大 ヒトのT細胞で判定	GREEN REPORT, 101(1998.8)
73	けやき並木 母乳とダイオキシン	GREEN REPORT, 129(1998.8)
74	ひと ごみ焼却場周辺の住民の血液から高濃度のダイオキシンを検出した 宮田秀明さん	GREEN REPORT, 139(1998.8)
75	深海の魚の環境ホルモン汚染を解明した愛媛大学教授 田辺信介さん	GREEN REPORT, 139(1998.8)
76	ダイオキシン 所沢で人体影響調査 大阪・能勢町と2地域で実施 環境庁、年内にも	GREEN REPORT, 26(1998.9)
77	血液から高濃度ダイオキシン 行政への疑心深まる茨城・新利根住民	GREEN REPORT, 73(1998.9)
78	ダイオキシン汚染 鳥・ほ乳類11種を調査 環境庁	GREEN REPORT, 91(1998.9)
79	環境ホルモン 次世代の生存率低下 九州大グループメダカ実験で確認	GREEN REPORT, 98(1998.9)
80	環境ホルモン 肝臓内で解毒 酪農学園大、解明に一步	GREEN REPORT, 100(1998.9)
81	環境ホルモンの有機スズ化合物 タヌキ、猿にも蓄積 首都圏などの動物 愛媛大農学部調査	GREEN REPORT, 111(1998.9)
82	ダイオキシン 精巢への影響は低い 国立環境研 動物実験で判明	GREEN REPORT, 111(1998.9)
83	ダイオキシン 胎・乳児期の影響調査急務 九大医療短大部助教授が講演 母乳汚染に個人差	GREEN REPORT, 117(1998.9)
84	母乳中のダイオキシン濃度 厚生省と県が調査へ 来年度 乳児の発育状況も	GREEN REPORT, 19(1998.10)
85	清掃工場焼却炉 談合疑惑問題 所沢市が契約議案の提案見送り ダイオキシン対策に影響(埼玉県)	GREEN REPORT, 30(1998.10)
86	城取清掃工場周辺のダイオキシン対策 茨城県が健康調査へ	GREEN REPORT, 35(1998.10)
87	禁止措置は不要 食器やおもちゃに使用 厚生省検討会が中間報告案	GREEN REPORT, 30(1998.11)
88	へその緒からは微量 ダイオキシンの母子移行 厚生省調査	GREEN REPORT, 111(1998.11)
89	「健康影響否定できぬ」 厚生省検討会 環境ホルモンの中間報告	GREEN REPORT, 21(1998.12)
90	環境ホルモン、健康への影響は？ 京都で開催の国際シンポで議論	GREEN REPORT, 4-5(1999.1)
91	焼却灰の川下に奇形魚 ダイオキシン検出 岡山市粟井地区 住民団体「原因究明を」	GREEN REPORT, 91(1999.1)
92	オオワシとオジロワシ 環境ホルモンの汚染 ロシアと共同研究へ 北大調査	GREEN REPORT, 95(1999.1)
93	ダイオキシン摂取量 基準値当分4ピコグラム 厚生・環境合同会議	GREEN REPORT, 23(1999.2)
94	環境ホルモン 女性に影響大 米の研究所が報告	GREEN REPORT, 111(1999.2)

表7-3(7) 文献リスト(マスメディアによる情報)

[物質の毒性] ③ 毒性発現期間

No.	記 事 名	文 献
1		

表7-3(8) 文献リスト(マスメディアによる情報)

[物質の毒性] ④ リスクの及ぶ範囲

No.	記 事 名	文 献
1	[行政資料] ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドラインについて	都市清掃 vol. 50 No. 216, 83(1997)
2	特集/ごみ処理に係るダイオキシン類の削減対策 都市ごみ焼却に伴って発生するダイオキシンとその対策	都市清掃 vol. 50 No. 218, 230(1997)
3	[論説] 廃棄物処理と地球環境問題-ダイオキシン・地球温暖化をめぐる-	都市清掃 vol. 51 No. 224, 290(1998)
4	資料 ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン-厚生省-	月刊廃棄物, 128(1997. 3)
5	ダイオキシン汚染 農耕地で最高値 環境化学討論会で発表	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 245(1997. 6)
6	ダイオキシン 大都会部で汚染深刻 環境庁測定、堺市が最悪	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 364(1997. 6)
7	環境庁 化学物質対策を強化 複合リスク全国調査 微量物質 エンドクリン	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 157(1997. 9)
8	内分泌攪乱物質規制へ 独環境庁が報告書	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 346(1997. 10)
9	東京湾海水のダイオキシン 総量 0.096-0.56g 新採水器使い調査 (資環研)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 321(1997. 11)
10	ダイオキシン 人と野生生物の汚染で 環境庁が調査検討会	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 421(1997. 12)
11	防げ!! 化学物質汚染 環境庁調査結果から ▲下▼	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 198(1998. 1)
12	ダイオキシン汚染拡大 環境庁全国調査で明らかに	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 259(1998. 1)
13	ダイオキシン 全国で汚染実態調査 環境庁長官表明	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 482(1998. 4)
14	環境リスク論-ダイオキシンリスク評価を例として-	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 122(1998. 7)
15	影響評価も研究進む 阪大など	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 115(1998. 9)
16	ダイオキシン汚染 全国の農地調査へ 農水、3年で150地点対象	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 16(1998. 10)
17	河川のダイオキシン汚染 除草剤残留も原因 愛媛大が調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 284(1998. 10)
18	河川ダイオキシン汚染 水田の除草剤が原因 愛媛大教授ら調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 238(1998. 10)
19	人畜由来種が多数検出 河川など内分泌かく乱物質調査 建設省 下水処理場は一定機能発揮	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 348(1998. 10)
20	極微量分析技術が"基準" 変える 環境ホルモン、化学物質検出技術と行政の最前線	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 150(1998. 11)
21	「難燃技術セミナー98」より 臭素系難燃剤とダイオキシン問題 独で規制基準クリア	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 174(1998. 11)
22	ダイオキシンの汚染実態を学ぶ 田富・産廃対策協(山梨県)	GREEN REPORT, 60(1997. 4)
23	ダイオキシン類濃度 大気中は基準値内 東京都が調査	GREEN REPORT, 12(1997. 5)
24	鳴門工場ダイオキシン検出 影響調査始まる 市、周辺で初(名古屋市)	GREEN REPORT, 68(1997. 8)
25	広がるダイオキシン汚染 環境庁全国調査	GREEN REPORT, 68(1997. 8)
26	ダイオキシン大気中濃度を初調査 愛知県が補正計上へ	GREEN REPORT, 10(1997. 9)
27	ダイオキシン 河川から検出(東京都)	GREEN REPORT, 109(1997. 9)
28	環境ホルモン 汚染、国が初確認	GREEN REPORT, 4(1998. 2)
29	宮城・北上川 ウグイから高濃度 ダイオキシン全国調査	GREEN REPORT, 7(1998. 2)
30	民間焼却炉の実態調査 名古屋市議会委	GREEN REPORT, 78(1998. 4)
31	土岐の産廃野焼き現場 ダイオキシン調査(岐阜県)	GREEN REPORT, 78(1998. 4)
32	ダイオキシン汚染 水田が際立って高濃度 愛媛大教授ら 松山平野調査	GREEN REPORT, 110(1998. 4)